

医療局 令和4年度当初予算(案)のポイント

照会先	経営管理課
	企画予算担当課長
	019-629-6306

岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕

持続可能な経営基盤の確立を図りながら、県民に良質な医療を持続的に提供していきます。

- ◆ 県立病院間のネットワークを活用した円滑な医療提供体制の構築や、他の医療機関及び介護施設等との役割分担と連携を一層進めます
- ◆ 医師・看護師等の育成・確保を進めるとともに、働きやすい職場環境を整備し、良質な医療を持続的に提供します
- ◆ 経営を取り巻く環境の変化に迅速に対応し、持続可能な経営基盤の確立を目指します

○ 令和4年度の事業運営

「岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕」に掲げる5つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行していくとともに、経営改善に向けて全職員一丸となって取組を進めます。

- 1 県立病院間・他の医療機関及び介護施設等を含めた役割分担と地域連携の推進
 - ・ 圏域内への効率的な職員の配置、支援体制の構築等による一体的な運営
 - ・ (仮称) 持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン、岩手県地域医療構想、医療政策の動向や地域医療ニーズを踏まえた病床の機能、病床数・病棟数の見直し
 - ・ 地域における役割分担と医療・介護・福祉等関係機関との連携強化
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備
 - ・ 新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立
 - ・ 医療安全対策の推進・強化
 - ・ 病院の施設・設備の計画的な整備の推進
 - ・ 質が高く効率的な医療の提供に向けた医療現場のデジタル化の推進
- 3 医師不足解消に向けた医師の育成・確保と医師の負担軽減に向けた取組の推進
 - ・ 医師の働き方改革に向けた取組の推進
 - ・ 臨床研修医及び専攻医の確保に向けた取組の推進
 - ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
- 4 職員の資質向上と患者数等の動向や新規・上位施設基準の算定を踏まえた人員の適正配置
 - ・ 看護職員や医療技術職員等の安定的な確保、各職域の専門資格職員の計画的な養成
 - ・ ワークライフバランスの充実やハラスメント防止対策など働きやすい職場環境の整備
 - ・ デジタル技術の活用等による業務の見直しと職員の意識改革の推進
- 5 持続可能な経営基盤の確立
 - ・ 令和4年度(2022年度)当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定、定期的な検証による経営計画に掲げる目標の達成
 - ・ 令和4年度診療報酬改定に対応した新規・上位施設基準の早期取得の推進

○ 令和4年度県立病院等事業会計予算の概要

1 予算の内訳

(1) 収益的収支

(単位:千円)

区 分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較
収 益	114,072,618	112,833,114	1,239,504
費 用	114,444,817	113,028,783	1,416,034
差引損益	△ 372,199	△ 195,669	△ 176,530
経常損益	70,492	37,305	33,187

(2) 資本的収支

(単位:千円)

区 分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較
収 入	14,895,411	14,639,687	255,724
支 出	21,018,612	21,831,956	△ 813,344
建設改良費	8,212,985	7,880,305	332,680
企業債償還金	12,340,027	12,511,251	△ 171,224
他会計からの長期借入金償還金	0	1,000,000	△ 1,000,000
投資	465,600	440,400	25,200
差 引 (内部留保資金充当)	△ 6,123,201	△ 7,192,269	1,069,068

2 収益的収支予算の主なもの

(1) 医業収益

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の受入れと併せて、通常診療を提供する体制を確保すること等により、入院・外来患者数の増加を見込んでいます。

ア 入院収益 60,850百万円(前年度比 2,905百万円) 入院患者数 1,145千人(前年度比 4千人)

イ 外来収益 28,806百万円(前年度比 677百万円) 外来患者数 1,697千人(前年度比 1千人)

(2) 医業費用

患者数の増加及び高額薬剤の適応拡大や使用量の増加等により、材料費の増加を見込んだほか、燃料価格の高騰等による経費の増加を見込んでいます。

ア 材料費 27,791百万円(前年度比 556百万円)

イ 経費 16,378百万円(前年度比 582百万円)

3 資本的収支予算の主なもの

(1) 建設改良費

冷房設備等の老朽化及び施設の狭あい化に対応するための工事費や、高度医療の充実を図るための医療器械の購入費等を計上しています。

ア 遠野病院冷房設備改修工事費 327百万円

イ 胆沢病院救急外来室等改修工事費 53百万円

ウ 線形加速器システム等医療器械購入費 4,554百万円

(2) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、466百万円を計上しています。